

上野南部地区住民自治協議会 女性部会



○代表の中谷佐和子さんに、伺いました。

平成 25 年 4 月に新しく出来た会です。会員数 19 名で結成されています。南部 11 町の女性が集まり自治協への協力や高齢者への見守りなど女性部だけの活動をしています。いきいきネット入会のきっかけは、以前、女性のつどいの会で活動している時から今に至っています。

今年の事業として、9/21(日)に市総合危機管理課の方に来ていただき、『避難所運営ゲーム(ハグ)』避難所の運営を疑似体験できる体験会を開催しました。もし、大地震が発生した場合、家屋の倒壊、火災などにより被災した多くの人が避難所での生活を強いられる事になります。

“もし貴方が避難所の運営をしなければならない立場になった時、最初の段階で殺到する人々や出来事にどう対応すればよいのでしょうか？”

3 時間程の時間の中で皆で考えて実体験に近いぐらいの貴重な体験をしました。このゲームを通じて少しでも勉強した事を頭の中に入れておきたいと、皆で実感しました。

これからも女性の力を発揮できる活動に取り組んでいきたいと思えます。

この日、編集員もゲームに参加させて頂きました。皆さんはじめは少し遠慮気味でしたが、“正解はない”とすることで自由に意見を出し合っていました。高齢者や女性など、社会的弱者の意見を取り入れる災害への危機管理の有効な手段だと実感しました。

旧上野市街で初めてハグに取り組んだ上野南部女性部会の防災意識の高さにも感心しました。

また、「来週には、地区運動会で、おいしい焼きそばを焼きますよ。」と笑顔で語ってくれました。



H U G

『避難所運営ゲーム(ハグ)』

ハグは、避難所の図面を 1/30 に縮小し、様々な問題を抱えた一人一人を一枚のカードにしたものを使い避難所運営側として、避難者をどのように収容していくかを考えるゲームです。

